

波頭を越えて

竹島レポート

第2部 ③

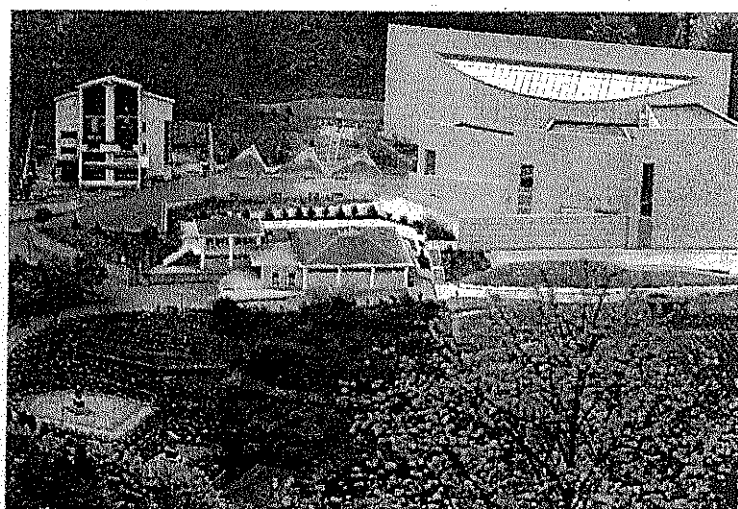
「トクトヌン ウリタ
 ディスコ調のリズム、どこ
 となく演歌風のメロディーに
 乗って繰り返される歌詞は、
 タイトルと同じ「独島はわが
 地」。1982年に韓国で大
 ヒットした歌だ。鬱陵島の
 「独島博物館」から展望台へ
 上がるケーブルカーで繰り返
 し流れていた。

5番まである歌詞には、
 「『世宗実録地理誌50頁3行
 目』など、領有権の論拠とさ
 れる文献のページ数から竹島
 (韓国名・独島)の位置、自
 然環境まで詳しく織り込まれ
 ている。『日露戦争直後に

所有者のない島だと言いつら
 れても本当に困る」と日本批
 判もあり、一時は「日本を刺
 激しすぎる」と放送禁止にも
 なった。だが、地元の人
 は「韓国人なら子供でも知って
 いる歌」という。

東京大学東洋文化研究所の
 玄大松・准教授が2001年
 5～6月にソウル市で行った
 調査では、「独島は韓国の領
 土」という認識を持つ子供
 は、小学校入学前でも48%、
 入学後では93%に上る。これ
 は教育よりも歌や報道などの
 社会的な雰囲気による影響が
 大きく、玄・准教授は「日本
 の侵略イメージとあわせて

誰でも知ってるヒット



公園や展望台、ケーブルカーなどが周辺に整備された鬱陵島の「独島博物館」

幼少期に「韓国領」意識形成

「独島意識」が形成されてい
 く」と分析している。

◇

鬱陵島の港から「独島博物
 館」へ至る道は、レンガの再
 敷設工事が進められていた。
 「今年で開館10周年なので、
 周辺一帯を都で再整備してい
 ます」と鬱陵郡の任在赫・広
 報係長(40)が教えてくれた。
 周辺一帯は、公園も整備され
 た広大な施設だった。

韓国最大の財閥「サムス
 ン」グループが約11億円かけ
 て建設後、国へ寄付した博物
 館は、韓国内でも唯一の領土
 問題に関する博物館だ。建物
 へ向かう途中、「対馬はわが
 国の領土」と大書した信じら
 れないような石碑が目にとま

った。
 館内は3人の職員が案内し
 てくれた。地下1階、地上2
 階建て延べ1600平方分の
 建物内には、約1300件の
 資料が展示されている。19
 05年の竹島の島根県への編
 入を告示した公文書の複写ら
 しきものなど、日本の公文書
 や古地図が実に多い。古書や
 古地図の収集家だった初代館
 長の故李鍾孝氏が寄贈したも
 ので、「ほとんど日本からも
 らった資料」という。

日本国内で竹島の領有権主
 張を示す看板も、地図と住
 所、写真付きで紹介されてい
 たが、すべてに批判的解説が
 添えられている。

◇

日本の資料をこれだけ集め
 た韓国が、日本と正反對の解
 釈に至るのはなぜか。竹島問
 題に詳しい下條正男・拓殖大
 教授は「韓国では国家が編纂
 した文献以外は『野史』とし
 て歴史的・文獻的価値がない
 から」と解説する。

日本人研究者の間で「悪質
 な歪曲展示」と悪名高いレリ
 ーフは入り口に掲げられてい
 た。古地図「八道総図」をも
 とに製作されたが、韓国が
 「独島を指す」としている予
 山島は、元の地図と違って竹
 島の位置へ変更されている。

博物館は「(『于山島』独
 島)を」分かりやすくするた
 め」と堂々と説明する。

韓国側が「独島を守るため
 に奮闘した」と後年になって
 將軍の称号を贈った安龍福の
 様子がジオラマで再現されて
 いた。白衣の正装に身を包

み、將軍然とした安龍福
 の指揮下、手に棍棒を持った
 朝鮮の人々が、日本の武士と
 漁民を鬱陵島から追い払って
 いる。

だが史実は逆で、安龍福は
 国禁を破って密航した貧しい
 兵士。日本漁民に鉄砲と刀で
 脅され、越境の証人として日
 本へ連行されたのだった。下
 條教授は「韓国の歴史では、
 王朝が代わると、正当性を主
 張するために必ず前政権を全
 否定する。そうした公文書が
 無批判に歴史として認識さ
 れ、安龍福も將軍にまつりあ
 げられた」と分析する。

だが、こうした展示物をよ
 そに、団体ツアー客たちは
 「独島土産」の物色にいそし
 んでいた。一般の人には歌や
 写真、単純な標語の方が親し
 みやすいのかもしれない。
 (竹島問題取材班)